

高木 まり

(2013年 新春号 / 2012年 9・12月定例会合併報告号)

事務所連絡先: 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-18

TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail: takagi@marit.jp

ご意見お待ちしております!

埼玉県議会議員

高木 まり

さいたま市議(2期)を経て、2011年4月より県議。福祉保健医療委員会、総合的な危機管理・大規模災害対策特別委員会所属



不断の見直しで財源探せ

全国一のスピードで高齢化が進む埼玉県では今後の財政の備えが重要!

今、日本全体が高齢化に向かっていますが、埼玉県はその中でも一番のスピード(伸び率 12.9%)で高齢化が進んでいます。

現在も、長引く景気低迷の中で重ねてきた国と地方の借金があり、大変苦しい財政状況ですが、今後さらに高齢者を支えるためのお金が必要になってきます。スピード感を持って、改革を進めなければなりません。

高木は、決算特別委員会の委員として12日間の審査を通じ、今後の埼玉県政のために必要な改革案について提言を行いました。



決算から見てきた「やるべきこと」

- ・ 県営公園は拡張だけを目指すのではなく、適正規模を見極める計画に。
- ・ 位置づけが曖昧で入館者低迷の「埼玉県山西省友好記念館」などは廃止の検討を。
- ・ 医師確保策に積極的に取り組んで来ているが、更なる取組みを。
- ・ 分権としては中途半端な「ふるさと創造資金」のあり方を見直せ。
- ・ 公会計制度を見直し、資産と負債の管理を的確に。
- ・ 納税率をアップせよ(リーマンショック前の水準回復を。H23年度 94.4%)

平成 23 年度

一般・13 特別・5 公営企業会計の総合計

歳入総額	2兆925億3609万6005円
歳出総額	2兆757億8655万3178円



知事の出席はないけれど…?

決算特別委員会では各委員から数多くの指摘が出されました。どう改善策をとったかは翌年の決算委員会に示される予定ですが、人間、自分が手がけているものに自ら「廃止」の判断をするのは難しいというもの。ここはやはり全体を見渡せる知事に委員会出席してもらい、大胆な判断が必要な指摘は、直接聞いて実行するか否かを考えていただきたいと思うのですが…?

※さいたま市で問題となった年度越え契約の不適正な会計処理が埼玉県でもあった問題で、該当13件につき、二度と起こらぬよう委員会として付帯決議をし、厳重注意を行いました。

主な議案 保育園・特養で埼玉県の独自基準を定める条例など、可決

～知事提出 63 議案などを審査～

- 県指定 NPO 法人の指定の手続きを定める条例(→寄付控除可で NPO を活発に!)
- 青少年に対し入れ墨を施す行為を禁止する条例(→青少年を守る!)
- 県道の構造等に県の実情を踏まえた独自の基準を盛り込む条例(→自転車レーンの設置や植樹しやすい規格などを追加)
- 県の福祉施設の設備・運営に県独自の基準を盛り込む条例(→安全確保と整備しやすさをプラス 特養では半個室を可能に)
- 平成 23 年度決算の認定について(→厳しい財政状況下での運営は評価。時代に合わせ事業の見直しを)

2月定例会は
2/20~3/27の
予定です。

新年にあたり

※ 公選法上、有権者の皆様への年賀状が禁止されております。失礼をお許しください。



